

振り込め詐欺 急増中!

電話でこんな言葉が出たら要注意

電話番号が変わった...

オレオレ...

還付金...

給付金...

キャッシュカードの暗証番号は...

あなたの口座が詐欺に...

風邪を引いたから声がおかしい...

ATMで操作...

現金(カード)を受け取りに...

それ振り込め詐欺では



今年に入ってから振り込め詐欺被害が多発しています。都内では6月末までに1,263件・約41億1,000万円の被害が発生し、区内でも46件を超える被害が発生しています。息子や孫、警察官や銀行員、役所職員を装い、振り込みや現金手渡し、キャッシュカードを受け取りにくるなど、巧妙な手口を使っています。振り込め詐欺を防ぐには、事前の対策が不可欠です。家族や身内の方と一緒に、未然の防止に努めましょう。

振り込め詐欺の手口

息子や孫を装い、振り込みや現金手渡しを要求する

「電話番号が変わったので登録しておいて」「風邪を引いたから声が変わった」などと電話し、

○会社のお金が入ったバックを電車内に置き忘れた

○友達の借金の保証人になっていて、支払わなければならない

等、「お金が急に必要になった」と告げて、振り込みを依頼したり、「知人(バイク便等)」に取りに行かせるから渡して」と自宅等で現金の手渡しを指示します

警察官や銀行員を装い、キャッシュカードを受け取りにくる

「○○警察・刑事課の○○です」と名乗り、

○あなたの口座が振り込め詐欺に使われています。このままだと預金の下ろせなくなる。

銀行協会の職員を同乗させます

○拾得物の中からあなた名義のカードが出てきました

等と言って、言葉巧みに通帳とキャッシュカードを受け取りに来ます。

さらに、「手続きをスムーズに行うために」と言ってキャッシュカードの暗証番号を聞き出します。

役所職員を名乗り、ATMを操作させ、お金をとる

「役所」、「還付金・医療費・給

付金」、「携帯持ってATM」というキーワードを出し、操作の様子を周囲から見過されがちなスーパーやコンビニなどのATMへ誘導し、現金を振り込ませます。



振り込め詐欺の被害にあわないための対策

緊急時の連絡先を事前に把握

緊急時の連絡先として、本人の携帯電話番号や勤務先の電話番号、友人の連絡先などを把握しておき、いつでも確実に連絡が取れるようにしておきましょう。

○携帯電話の番号が変わったという電話には、元の電話番号にかけ直すようにしましょう。

連絡がとれない場合には、すぐに警察に相談してください。

動揺しない、慌てない、すぐにお金を振り込まない

電話を受けたとき、「詐欺かもしれない」とまず疑ってみてください。電話を切った後、すぐに事実を確認する気持ちでいてください。脅迫めいた言動をしたり、冷静に考えたり周囲に相談したりする時間の余裕を与えない手口をしますが、毅然とした態度で接し、一度電話を切り、事前に把握した緊急の連絡先が警察に連絡してください。

環境づくりで振り込め詐欺を撃退

別居しているご家族や身内の

まだまだある振り込め詐欺撃退法

○留守番電話の活用

常に留守番電話に設定し、着信時の電話番号に心当たりのない場合は電話にでない。また、留守番電話に合言葉を吹き込んでもらい、相手が確認できたら受話器をとりましょう。

○ATM利用限度額の引き下げ
還付金詐欺等で万一、被害にあった場合でも被害を最小限に抑えることができます。お近くの金融機関にお問い合わせください。

区 深川警察署

☎(3641)0110

城東警察署

☎(3699)0110

東京湾岸警察署

☎(3570)0110

危機管理課生活安全担当

☎(3647)4399